

日本の小売業2,145店舗のサービスクオリティを調査
「サービス オブ ザ ・ イヤー2015」
コナカが総合グランプリに選ばれました。

“すべては品質から。”をスローガンにSPA(製造小売)システムにより、素材・機能・ファッションを高い“品質”で提供するコナカ(東証一部、代表取締役社長 湖中謙介)は、このたび株式会社商業界が実施した「サービス オブ ザ ・ イヤー2015」の調査で、総合グランプリを受賞いたしました。

「サービス オブ ザ ・ イヤー」は2014年から開始された調査で、小売業の基本である“おもてなし”の実態を把握する事を目的にしています。第2回目となる2015年には日本の小売業763社、2,145店舗(第1回の2014年は695社、1,661店舗)を調査。原則として1社につき複数店舗を日本全国から無作為に選定し、①セルフセレクトの完成度、②接客環境、③接客スキル、④会計対応、⑤クレンリネス、⑥再来店意向の6つの項目を、株式会社商業界が独自の評価基準で調査したものです。コナカは2014年のアパレル部門賞受賞に引き続き、2015年は総合グランプリを受賞いたしました。

※調査の詳細は6月30日発売の別冊「サービス オブ ザ ・ イヤー2015」に掲載。

コナカはお客様にご満足いただけるよう、商品・店舗・売場づくりはもちろん、接客サービスの更なるクオリティ向上に努めてまいります。



「サービス オブ ザ ・ イヤー2015」
総合グランプリを受賞

KONAKA